

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述・論述・描図・選択・マーク

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

設問の多くは空所補充で、一部に問形式を含む。受験生にとって目新しい問題を、誘導に従って解いていかなければならない。

その他トピックス

物理問題Ⅲ (2) は、2025 年度第 2 回京大入試オープン物理問題Ⅲ (2) がズバリの中。

<大問分析>

| 番号 | 出題形式 | 出題分野・テーマ | 範囲 | コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど) | 難易度 |
|-----|------------------------------------|-------------------------|----|---|-----|
| I | 空所補充 ・問形式 (記述・ 論述・選 択) | 力学 (円運動) | 物理 | ばねまたはひもにつながれた小球の円運動についての問題。(2)、(3)では重心から見た2つの小球が円運動することに気を付けて解いていけばよい。 | 標準 |
| II | 空所補充 ・問形式 (記述・ 選択・論 述) | 電磁気 (ソレノイドの 自己誘導) | 物理 | ソレノイドの自己誘導現象から、ソレノイドに流れる電流が作り出す圧力を導出する問題。受験生にとって見慣れないテーマであり、上手く誘導に乗っていかなければならない。 | やや難 |
| III | 空所補充 ・問形式 (記述・ 選択・論 述) | 熱 (気体の状態変 化) | 物理 | (1) 断熱変化で成立するポアソンの式を導出し、等温変化と比較する問題。 (2) エネルギー密度が温度で決まる気体の変化を問う問題。問題文の誘導に従って確実に計算を進めていかなければならない。 | やや難 |

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 基本事項を正確に把握する。
2. 題意を正しく把握するための読解力を養う。
3. 図を用いて状況設定を正しく把握する習慣を身につける。
4. 正確で迅速な計算力を養う。